

OURA

vol.4

だより

現在大浦で取り組んでいる「大浦地域まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

【第4回】

会場：大浦会館

日時：2025年8月3日

参加者：35人
(うちWS参加者26人)

01|趣旨説明

はじめにグループごとに「暑さ対策」について語り合った後、前回の振り返りと今回のゴールを見据えた趣旨説明を受け、ワークショップがスタートしました。



【第4回ワークショップのゴール】

【ゴール①】第3回で考えた案をもとに、グループごとの提案を整理して完成させる

【ゴール②】提案を出発点にして、地域と公共施設のこれからを考える

02|ワークショップ

1

前回のアイデアの確認と修正があれば追加しよう！

班ごとに、前回出たアイデアの確認を行いました。

2

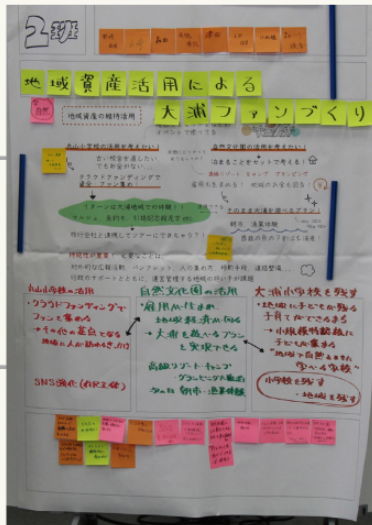
これまでのアイデアをまとめて提案のコンセプト(タイトル)を考えよう！

アピールポイントや提案の実現によって、どう地域が変わるか、そのためのアイデアの深堀りを行った後、タイトルも考えました。

3

提案の実現に向けて、「私ができる小さな一歩」を宣言しよう！

最後に、班で考えたアイデアを実現するために「自分ができる小さな一歩」を一人一人考え、付箋に書き出しました。



SCAN ME!

完成した模造紙の詳細はこちらの
二次元コードからご確認いただけます。



03|全体共有 & 講評

全体共有をした後、アドバイザーと鴨田市長から講評がありました。



鴨田市長

地域内外の人が議論することで、課題ややるべきことが浮き彫りになった。このワークショップの結果を大事にして、まちづくりに活かしていきたい。本音で市に伝えてもらえる関係性を作っていきたい。

心配事があっても、やってみて解決していけばよい。第一歩を踏み出すことでやりたいことの実現に向けてスピードアップしていく。



堤先生(前橋工科大学准教授)



杉岡先生(福知山公立大学准教授)

終わってしまうことが、寂しいと感じる人がいるぐらい良いワークショップになったと思う。どうすればまちが良くなるのか、取捨選択が必要である。

